

りんご苗木 2万本助成

～農業再生基盤強化による地域農業の活性化へ～

当JAは、地域農業生産基盤強化のため、合併2年目の平成22年度から農業振興計画を策定し、その計画に関わる助成事業を展開している。29年度は組合員からの意見要望を盛り込みながら、り



りんご苗木を受け取る生産者（平賀地区）

んごや米、ハウス栽培など農業振興のため、合計5000万円を助成する。

4月中旬から各地でりんご苗木を配布した。りんご苗木助成は全助成事業の4分の1を占める。一人につき最大50本で1本あたり700円以内。29年度のりんご苗木の助成は812件が申し込み、配布本数は前年度より3000本多い約2万本となった。

4月10日、平賀地区で生産者に苗木を配布した。毎年助成を受けている生産者は「助成があることで、少しずつ計画的に園地の木の更新ができる。木が若返れば、高品質なりんごが作れるようになるので、助かっている」と話した。



りんご苗木を受け取る生産者（石川地区）

営農部営農課の高木学課長は「りんご苗木は、JA推奨品種の着色系品種と黄色系品種を助成の対象としており、着色管理の面で労働力の省力化が期待できる。現在、各作物に対応する30年度の助成も計画している。農業生産力強化のため、利用してもらいたい」と話した。